

北名古屋市議会だより vol.71

またる

川水紙

大北 貴志

Ogita Takashi

名古屋芸術大学 デザイン学科

2019年度 卒業制作



議長・副議長あいさつ



議長

沢田 哲



副議長

清水 晃治

市民の皆様におかれましては、日頃から市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、私ども両名は議員各位のご推挙をいただき、議長、並びに副議長に就任いたしました。誠に光栄であると共に、その職責の重さに改めて身の引きしまる思いでございます。

世界、日本、愛知県、そして北名古屋市は、新型コロナウイルスという未知のウイルスによって、日常生活や経済活動に多くの打撃を受けました。また、学校や保育園、幼稚園、そして医療、介護の現場でも、これまで経験したことのない混乱が生じました。

北名古屋市議会は、20人の議員全員で力を合わせ、英知を絞り、様々な立場の市民の皆様の想いを代表し、地域の諸課題に向き合い、二元代表制の一翼を担う議会として、多角的に議論を積み重ねると共に、市議会と市当局が車の両輪となり、力を合わせてこの苦難を乗り越え、新しい生活様式に対応していかなければなりません。

今後も市議会に対し、市民の皆様のより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

CONTENTS

議長・副議長
あいさつ……………P 2

令和2年
第1回臨時会報告…P 2

議会の役員構成…P 3

附属機関等委員・
コロナ対策の取組…P 4

令和2年第1回臨時会報告

令和2年第1回臨時会が5月8日に招集され、以下の議案を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。

第1回臨時会

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 議案第31号 | 令和2年度北名古屋市一般会計補正予算(第1号)について |
| 議案第32号 | 令和2年度北名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について |
| 議案第33号 | 北名古屋市国民健康保険条例の一部改正について |
| 議案第34号 | 北名古屋市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について |

議会の役員構成決まる

◎ 委員長 ○ 副委員長

議長 **沢田 哲**

副議長 **清水 晃治**

監査委員 **渡邊 幸子**
(議員選出)

議会運営委員会

◎ 井上 一男 ○ 猶木 義郎
大野 厚 神田 薫
桂川 将典 永津 正和
間宮 文枝 渡邊麻衣子

※政治倫理委員会を兼ねる

**鉄道連続立体交差事業等
検討特別委員会**

◎ 神田 薫 ○ 熊澤 真澄
【 全議員で構成 】

☐ 会長 □ 副会長

議会改革推進協議会

☐ 井上 一男 □ 猶木 義郎
【 全議員で構成 】

広報委員会

◎ 清水 晃治 ○ 渡邊 幸子
神田 薫 間宮 文枝
梅村 真史 渡邊麻衣子
熊澤 真澄

常任委員会

総務常任委員会

◎ 間宮 文枝 ○ 福岡 康
永津 正和 渡邊 幸子
阿部 武史 川淵 康宏

福祉教育常任委員会

◎ 大野 厚 ○ 齊藤 裕美
沢田 哲 桂川 将典
梅村 真史 渡邊麻衣子
井上 一男

建設常任委員会

◎ 神田 薫 ○ 熊澤 真澄
黒川サキ子 上野 雅美
猶木 義郎 浅利 公惠
清水 晃治

予算決算常任委員会

◎ 永津 正和 ○ 猶木 義郎
【 全議員で構成 】

一部事務組合議会

西春日井広域事務組合議会議員

沢田 哲 間宮 文枝
福岡 康 永津 正和
川淵 康宏

北名古屋衛生組合議会議員

沢田 哲 大野 厚
齊藤 裕美 桂川 将典
梅村 真史 渡邊麻衣子
井上 一男

北名古屋水道企業団議会議員

清水 晃治 神田 薫
熊澤 真澄 黒川サキ子
上野 雅美 猶木 義郎
浅利 公惠

附属機関等委員

名 称	氏 名
北名古屋市国際交流協会	沢田 哲 福岡 康
北名古屋市国民健康保険運営協議会	大野 厚 齊藤 裕美 井上 一男
北名古屋市民生委員推薦会	大野 厚
北名古屋市社会福祉協議会理事会	大野 厚
北名古屋市社会福祉協議会評議員会	渡邊麻衣子
北名古屋市通学区域審議会	沢田 哲 大野 厚 齊藤 裕美
北名古屋市給食センター運営委員会	大野 厚
北名古屋市青少年育成会議	沢田 哲
公益社団法人 北名古屋市シルバー人材センター理事会	清水 晃治
北名古屋市防災会議	沢田 哲
北名古屋市国民保護協議会	沢田 哲
北名古屋市地域公共交通会議	神田 薫
水場川排水機場管理協議会	沢田 哲
中江川改修促進協議会	沢田 哲 神田 薫
北名古屋市都市計画審議会	沢田 哲 神田 薫 熊澤 真澄
	黒川サキ子 上野 雅美 猶木 義郎
	清水 晃治

新型コロナウイルス感染症対策における北名古屋市議会の取組

北名古屋市議会では、市民生活の安定確保や企業経営の持続のために必要な予算や条例について、迅速に審議しなければならないことから、できる限りの工夫を行って、感染拡大の防止に留意しつつ、議会運営に取り組んでおります。

なお、緊急事態宣言は解除されましたが、「新しい生活様式」を参考に対策を継続して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ★議員同士の接触機会を減らす(会期日程の変更、会議時間の短縮)
- ★市職員との接触機会を減らす(訪問せず電話やメールによる問合せ、会議出席者を必要最小限に削減、事務局職員の分散勤務)
- ★密接を避ける(会議室のレイアウト変更による離隔の確保)
- ★定期的な換気(会議中・休憩中の換気による空気の入替)
- ★消毒の実施(出入り口の手指消毒液の設置、ドア・座席・設備等の消毒)
- ★マスクの着用を含む咳エチケットの徹底

表紙紹介 大北 貴志さん(名古屋芸術大学)

川水紙

三重と愛知を流れる11の河川の水を用いて、紙を漉きました。

紙が不要(paper free)になりつつあるとささやかれる現代において、「素材としての紙」の役割はさらに広がる気がしてならないからです。川水は「人の命の源」であり、その地域特有の風土も表しているといえます。同じ原料でも、川の水で紙を漉くことで、水中に混じる土や砂の粒子、細かな小枝や葉っぱ、水面に浮かぶ油(生活排水)などによってわずかな変化が生まれます。これから先、紙はさらにローカルに多様化していくのではないのでしょうか。

この作品を通じて風土や地域性を促えてみることで、色味や風合いの違いによる面白さ、意外性を発見してみてください。



(作者紹介画像)